

## 2025 春季生活闘争 闘争開始宣言 2.6 中央集会」を開催

みんなで作ろう！賃上げがあたりまえの社会



連合は2月6日(木)、有楽町(よみうりホール)にて2025 春季生活闘争の開始を広く社会に宣言することを目的に開催され、会場には1062名が集結、ウェブからも多くの視聴者が参加する中、春季生活闘争にかける思いを一つにし、JR連合加盟単組と共に関東地区本部組合員が参加しました。

芳野中央闘争委員長挨拶では、「これまで社会を覆ってきた後ろ向きの常識が本当に変わる。今はその瀬戸際だ。私たち連合に寄せられる期待・責任も、かつてないほどに大きいということを改めて自覚しなければならない」と述べられました。

続いて、松浦中央闘争委員長代行(連合会長代行)による決意表明が行われ、「今年の春闘は、33年ぶりの大きな成果を残すことができたが、中小との格差是正では大きな課題を残した。今年こそ、取引の適正化と価格転嫁を実現し、これを日本全体で取り組むべきテーマとして、われわれ連合が突き動かしていかなければならない」と呼びかけました。その後、岡野中央闘争委員(自動車総連中央執行委員)が闘争開始(案)を読み上げ、最後に清水中央闘争事務局長の発声による「ガンバロー三唱」を行い、春闘に取り組む決意を共有し集会を締めくくりました。

なお、集会の前段に連合アクション「2.6街頭アピール行動」を有楽町で行いました。

## 関東交運労協春闘 2025 年春季生活闘争決起集会開催



2月10日(月)東京・田町交通ビルにおいて開催され、加盟産別組合130名が参加しました。この集会にはJR連合加盟単組と共に、関東地区本部組合員と南関東ロジスティクス労組組合員が参加しました。

関東交運労高梨議長(私鉄総連)挨拶では「交通運輸産業は、経済や生活基盤を支えるエッセンシャルワーカーとして質の高いサービスの提供に日夜邁進しているが、人材不足・労働者不足等、かつてない厳しい状況に直面している。2025春闘では、物価を上回る賃上げ実現を目指し、賃金・労働条件向上により、人材の確保・離職防止に向けた取り組みを各産別が認識して、積極果敢に進めていかなければならない」と決意を述べました。

中央情勢報告では、中央交運労協慶島事務局長(JR連合)より激励と交運労協活動経過について報告され、春闘現状報告・決意表明では、6産別から報告があり、JR連合からは関東地方協議会外崎事務局長よりJR連合の春闘方針と取り組む決意が述べられました。

最後に、福田事務局次長により集会宣言(案)を読み上げ、高梨議長による力強い「団結ガンバロー」を行い、集会を終えました。

